

散策コース 見どころ 紹介

1 獨協医科大学—銀杏並木

所在地…壬生町大字北小林880



昭和48年4月獨協医科大学が開校。翌49年獨協医科大学病院が開院されました。大学構内の並木には約188本の銀杏が植えられています。秋に黄色く色づいた銀杏並木は入院患者はもとより、地域の人にも喜ばれています。

2 小林神社

所在地…壬生町大字北小林



本堂は、39年に一度開帳される秘仏の薬師三尊像です。厨子内には又々2年に開帳されたことを示す墨書銘もあります。薬師座像は、左手を膝上に置いて薬壺をとり、右手は五指を軽く伸ばし、蓮台上に結跏趺坐し、両側に日光・月光菩薩像が立っています。また、厨子の両側には十二神将が置かれ、薬師三尊像同様に、町指定文化財となっています。

薬師瑠璃光如来、日光・月光菩薩、十二神将
神官と僧侶が同席する神仏集台の珍しい祭礼
(とちぎの祭り百選)11月上旬

3 御熊野塚・尼恋塚

所在地…壬生町大字北小林



鎌倉時代、朝日奈三郎とともに落ち延びた三郎の家来「熊野五郎」と、彼を慕い、尼になった「あかね」という娘の墓。尼恋塚は、水不足にこの塚に祈ると雨が降ったと言われることから雨乞塚とも呼ばれています。

雨乞塚

4 朝日奈の五輪塔

所在地…壬生町大字上田



朝日奈の五輪塔は、上田朝日奈の小高い丘の上に建てられています。朝日奈の五輪塔は上田の五輪塔とともに、鎌倉から室町時代にかけて造られたものであり、町内に残る五輪塔では最大のものであります。五輪塔は、上から空輪(宝珠形)・風輪(半月形)・火輪(三角)・水輪(円)・地輪(方形)の五つの部分からなります。傍らには、火輪・水輪の部分を残すもう一基の五輪塔があります。

5 磐裂根裂神社

所在地…壬生町大字安塚1772



2月3日に行われる節分祭には折とうに訪れた参列者に太巻き(「夢福巻きすし」)を配ります。宮司が神事を行った後、参列者全員が当年の恵方を向いて太巻きをほおぼります。太巻きを鬼の金棒に見立て食べることで、鬼退治をするという意味がこめられています。

6 亀塚古墳

所在地…壬生町大字安塚1772



亀塚古墳は、姿川西岸の台地上につくられた前方後円墳です。現在前方部上には社が祀られていますが、近年の測量調査から、墳丘部は当時のまま残っていることが確認されました。

7 戊辰戦役の碑

所在地…壬生町大字安塚



慶応4年に起こった、江戸開城に不満を持った幕軍の反抗。安塚の戦いもその一環で、この時に戦死した幕軍34名の霊を弔って、明治13年に建立されました。

8 安昌寺の桜

所在地…壬生町大字安塚1978



境内には樹齢130年以上もあるしだれ桜があり、4月上旬より、開花中は夜11時までライトアップされます。昼間とはまた違った印象の景観です。墓地内には、戊辰の役で亡くなった官軍戦死者の墓(官修墓地)もあります。

9 官軍本陣跡

所在地…壬生町大字安塚2008-1



慶応4年4月戊辰の役に官軍の本陣となった馬田家の長屋門には、入口右の壁に鉄砲の弾の跡が残っていました。現在、長屋門の扉が無いのは、負傷者を扉にのせ運んだためとも言われています。

10 上田の五輪塔

所在地…壬生町大字上田



五輪塔は我が国独自の石造物で古くは平安時代より造られました。もともとは、墓石として造られましたが、後に供養塔として広く用いられるようになりました。近年この地に移築された折、直下より蔵骨器として利用された古瀬戸瓶子が出土しています。また隣接して上田城址があります。

11 中泉寺—巴御前の墓

所在地…壬生町大字中泉



中泉寺境内には、宇治川の戦いに敗れて、義経に追われた木曾義仲(平家物語の中に登場する重要人物)の妻で容貌も優れた巴御前(武勇に優れ、鬼神の様な働きをした並び無き女武者)の墓とされる五輪塔があります。

12 壬生町総合運動公園 (おもちゃ博物館とちぎわんぱく公園)

所在地…壬生町大字国谷2300



魅力のワンダーランドおもちゃ博物館は、地底都市あり、SFワールドあり、楽しさいっぱい。子供から大人まで夢中になれます。博物館隣には、自然豊かな大きな公園とちぎわんぱく公園があり、四季を肌で感じられます。

13 おもちゃのまちバンダイミュージアム

所在地…壬生町おもちゃのまち3-6-20
バンダイコレクションセンター内



バンダイミュージアムでは、原寸大の機動戦士ガンダムやおもちゃの歴史を知る約7,000点のコレクション。世界で5指、日本で最高の質・量を誇るトーマスエンジンの発明品を間近に見ることが出来ます。
機動戦士ガンダム ©創通・サンライズ

散策コース

ふるさと
ふれあい
みぶの道